

お知らせ

講習会・セミナー・見学会

平成23年度補助事業による講習会は、本年2月をもって全て修了しました。新年度の講習会は5月以降、順次開催を予定しています。

「防耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」講習会

この2月、全国5会場で開催しましたが、その後も講習会開催の要請が寄せられています。現在、大臣認定を織り込んだ仕様書、設計施工チェックリストの作成中です。これらをテキストに追加した講習会を5月から全国一斉に開始する予定です。

講習会は、連携団体ごとに小さなグループで開催できるように、教材の準備、そのためのリーダー養成に着手しております。教材の一つとして、東京会場での安井昇氏の講演内容をもとにしたDVDも製作中ですので、いましばらくお待ち下さい。

「JBNインスペクター」講習会(予定)

(株)住宅あんしん保証の「あんしん住宅瑕疵保険の認定品質住宅制度」の認定団体として適用され、4月から運用開始となります。

この制度で規定する団体検査員の資格は、JBN正会員企業に所属し、次の①または②の条件を満し、所定の講習を受講した上で、工務店サポートセンターに登録された方となります。

- ①全建連「ちきゅう住宅検査員」有資格者
- ②新規の場合は、建築士(1級・2級・木造)有資格者
 - ・講習会は4月中旬頃から順次開催の予定。
 - ・開催地は仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の予定。
 - ・講習会は、約3時間程度
 - ・テキストは「JBN認定品質住宅(新築・リフォーム)」適用要領(保険申込手続き、設計施工基準、検査要領等)
 - ・講習終了者による登録申請で「JBNインスペクター」カードを発行。
 - ・その後の講習会は連携団体ごとに必要に応じて、リーダーにより開催を予定しています。
 - ・問い合わせ:事務局 坂口・永山

●各種講習会のお申し込み

工務店サポートセンターHP→http://www.jbn-support.jp/よりお申し込み下さい。

刊行物のご案内

新しい刊行物

●住宅改修の工事記録写真・撮影・保管の実務

先に刊行した「バリアフリーから始める住まいの快適リフォーム」の副産物ともいえるものです。改修工事の経過を証明する写真の添付が求められたのですが、不適切なものが多く、工事が終わった段階では撮り直しが出来なかったという苦い経験から本書が作成されました。改修工事を対象に記録写真の撮り方のイロハから、写真の整理・保管までを判りやすく説明した実務書です。



工務店サポートセンター発行、刊行2012年2月、A4・32ページ

●発行/お問い合わせ

一般社団法人 工務店サポートセンター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階
TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679
E-mail: jbn@jbn-support.jp homepage: http://www.jbn-support.jp
発行人: 藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載
協力: 社団法人 全国中小建築工事業団体連合会



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

●「木造建築士資格研修テキスト」平成24年度版配本
「地域型住宅ブランド化」の信頼できる担い手に木造建築士
木造住宅の設計から施工、完成後の点検・維持にいたるまで、多岐にわたる情報の把握、知識・経験にもとづく総合的な能力を備えた人材が求められています。木造住宅の品質の確保、性能の表示、評価、検査、生産履歴管理、保証など、新たな法制度によって、建築士でなければ携われない業務も増えていきます。本書は「木造住宅に精通したスペシャリスト・木造建築士」をめざす人はもちろん、木造住宅の設計・施工・管理に携わる人たちの学習専門書となっています。平成24年度の資格試験にあわせて改定増補しました。
工務店サポートセンター編、2012年2月20日配本
定価 3,800円(消費税込)、発行・井上書院

●バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム 指針・事例集
工務店サポートセンター・増改築委員会編 A4版・102ページ

●地域工務店のための「防耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」～木造らしさを生かした防耐火性能の高い家づくり～
工務店サポートセンター編 A4版・90ページ

●長期ちきゅう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定
工務店サポートセンター編 A4版・212ページ

●同上・「手刻みの基本(軸組編)」
工務店サポートセンター編 A4版・24ページ

講習会用教材

●Ⅱ・Ⅲ地域版全建連長期優良住宅型式マニュアル解説編
全建連連編 A4版・194ページ

*「長期優良住宅型式認定」講習会用教材(Ⅱ・Ⅲ地域用)

●工務店サポートセンター監修・編「木造住宅・工事管理の実務」
彰国社刊、監修 藤澤好一/編著 工務店サポートセンター

*「工事管理の実務」講習会用教材

●国産材でマンション・リフォーム
工務店サポートセンター編 A4版・64ページ

*「既存住宅改修」講習会用教材

●バリアフリー改修から始める住まいの快適リフォーム
パンフレット
工務店サポートセンター編 A4版実例入り。

*「既存住宅改修」講習会用教材

●長期優良住宅申請マニュアル申請編(新版)
工務店サポートセンター編、刊行2011年3月、A4・115ページ

・長期優良住宅建材マニュアル①(構造編)
構造用面材・木造住宅用接合金物(新版)
・長期優良住宅建材マニュアル②(省エネ編)
断熱材・開口部(新版)
・長期優良住宅型式認定マニュアル(横架材・基礎スパン表)

*以上「型式認定」講習会用教材

●JBN版「住まいの管理手帳」戸建て編
講習会用教材DVD、刊行2011年5月

*「住宅履歴」講習会用教材

●「長期・ちきゅう住宅」仕様書
工務店サポートセンター発行、刊行2010年3月、A4・118ページ

*「住宅履歴」講習会用教材

JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のために工務店サポートセンターがさまざまな面から支援します。

暮爺記(ぼやき)

オープン工法といわれる在来軸組工法だが、なんでもありと誤解されてのことか、プレカット工場で加工される軸組には構造的に問題ありとされるものが少なくないという報告を耳にした。オープンであっても良い点を伸ばすにはそれなりのルールが必要だということだ。JBNは全建連という囲いが外れてよりオープンな開かれた組織になった。だからといって会費さえ払えば誰もが正会員になれるのか、といえばそうではない。拠って立つ基盤が同じでなければ、組織そのものが成り立たない。その上で、思いも姿勢も向かう方向も同じでありたい。それが本号一面の組織・目標・憲章だ。正会員資格の条件では、入会から5か年以内に許可業者となる事業者、と将来への道も開いた。この条件を運営幹事会で提言したのが若手の幹事。風通しが良いこと、懐をひらくこと、率直に耳を傾けること、オープンな組織にとって不可欠な条件でもある。(F)

JBN 工務店サポートセンターレポート

Japan Builders Network http://www.jbn-support.jp

■JBN会員数(2012年2月末日現在)正会員/1,866社、協会員/79社、情報会員/35社 ■「いえもり・かるて」登録累計数(2012年2月末日現在)/3,750件

- 4月、新しいJBNがスタート
- 事業報告・委員会報告
- 各委員会委員長のJBNへのメッセージ、全木協、愛知県と災害協定締結
- ご案内 JBNインスペクター・リーダー講習会

2012.April
No.33
4月号
発行人:藤澤好一
©工務店サポートセンター 禁無断転載

4月、新しいJBNがスタートします

JBNの活動が主軸、組織・目標・憲章も新たに

一般社団法人工務店サポートセンターは、2007年設立以来、工務店の全国ネットワークの構築をめざし、地域工務店支援のため長期優良住宅の普及と促進を中心に、各種型式認定・大臣認定の取得、各種講習会、研究開発等、さまざまな事業の取り組みを通して、工務店の経営に役立つ情報の蓄積と提供を行ってまいりました。

JBNがわが国工務店業界の発展にむけて、組織として活動をより強化、推進できるよう体制を整え、工務店サポートセンターと一体となって、新しい体制で運営していくことを理事会、役員会にて決議しました。

JBN(ジャパン・ビルダーズ・ネットワーク)とは
地域工務店(JBN会員)で構成される全国組織の業界団体です。

一般社団法人工務店サポートセンター(BSC)は
JBN会員をサポートするための「工務店による工務店のための組織」であり、国をはじめ産学、市民公的機関の協力のもとにJBNのための支援、研究開発を行う組織です。

JBNが掲げる目標
地域の工務店が個々で出来ることは限られています。連携と連帯による組織的な活動が必要です。

1. 住まいに関わる役割をしっかりと発信し、社会から必要とされ、信頼される業界団体として、確かな認知を得よう。
2. 関係団体・国と協力して、次に続く技術者・技能者にとって魅力のある業界になろう。
3. 団体として力をつけ、業界として国への施策・提言ができるようになろう。

JBN会員工務店憲章
JBN全国大会2010の大会宣言をもとに新たにしました。

1. JBNは、「日本の木で、日本の匠で、日本の家」を造ります。
2. JBNは、長期にわたって住み続けられる資産となる住宅を造ります。
3. JBNは、日本の家をしっかりと守り、維持して行きます。
4. JBNは、環境品質を高め、環境負荷を低減する住宅を造ります。
5. JBNは、技術者及び、技能者の育成に努め、お客様の信頼を得て、未永く日本の家造りに貢献します。
6. JBNは、情報を共有し、技術の研鑽に努め、地域社会における住生活向上に貢献します。
7. JBNは、次世代を担う者達が、自信と誇りを持って取り組み、家守として尊敬される業界になることを目指します。

JBNの会員区分と会費が改定されます。

JBNの更なる発展と支援強化のため、ご理解とご協力をお願いします
2012年度(本年4月～来年3月)のJBN会費を別表どおり改定させていただきます。皆様にはご負担をおかけすることになりますが、役員、職員一同、JBN発展のために専心いたします。新会費は、2012年5月1日入会から適用されます。本年4月30日までに継続、入会手続きをされる場合は、旧年会費のままです。
正会員入会資格:建設業許可業者および入会から5か年以内に許可業者となる事業者
入会費:無料 年会費:一括払い、毎年4月から翌年3月までの1年間
但し、入会時のみ入会月から月割計算。年度途中退会の場合は返金いたしません。

新しい会員区分と年会費一覧
*1) 支援内容
① JBNセンターレポート・各種案内・協会員資料送付(毎月1回)
② 各種講習会の受講、各委員会への参加及び関係機関委員会への委員派遣(参加資格要審査)
③ サポートセンター刊行物・マニュアル・パンフレット配布
④ 各種認定工法利用・各種制度利用
⑤ 各種サポート、いえもり・かるて、各種保険特典割引利用
*2) 連携団体の年会費は団体登録料。なお、これまでの会員団体は「連携団体」と呼び替えることになりました。

JBN会員になることのメリット

1. 各種委員会、研究開発プロジェクト、イベント開催へ参加できる。
2. 中央官庁情報が正確に入手、意見交換できる。
3. JBN工務店、協会員、支援団体との情報交換できる。
4. 現役実務者の会「次世代の会」で各種研修ができる。
5. 各種保険(保証料・検査料)が団体割引料金で利用できる。
6. 各種申請者(長期優良住宅補助事業)の支援が受けられる。
7. 各種講習会、セミナーに無料または割引で参加できる。
8. BSCの成果物(マニュアル・パンフレット)を利用できる。
9. 技術者・技能者育成に各種支援が受けられる。
10. 都道府県別全木協への参加で地方行政とのパイプができる。

JBN認定品質住宅(新築・リフォーム)の運用を開始

JBN・工務店サポートセンターでは、(株)住宅あんしん保証が運営する「あんしん住宅瑕疵保険の認定品質住宅制度」の認定団体としての適用を申請していましたが、この4月より認定団体として新築・リフォームともに運用を開始します。JBN認定品質住宅(新築・リフォーム)の運用詳細(保険料、申込手続き、設計施工基準、検査要領等)を整え、資料・パンフレットを作成しているところです。

あわせて、JBNインスペクターがスタート

JBN認定品質住宅(新築・リフォーム)の運用開始にあわせて、認定団体検査員として、JBNインスペクター(検査員)の資格登録を開始するため、準備が整い次第、リーダー講習会を開催します。詳しくは4ページのお知らせをご覧ください。

新しい事務所で業務を開始

4月2日(月)より、住所・TEL・FAXとも、新しくなります。
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-4-10
京橋北見ビル東館6F
TEL 03-5540-6678
FAX 03-5540-6679
都営地下鉄浅草線
宝町駅より徒歩3分
東京メトロ日比谷線
八丁堀駅より徒歩4分
東京メトロ銀座線
京橋駅より徒歩5分



会員区分 (所属区分)	支援内容*1)					年会費
	①	②	③	④	⑤	
正会員	(連携団体所属)	●	●	●	●	24,000円
	(直接所属)	●	●	●	●	60,000円
設計事務所会員	(連携団体所属)	●	●	●	●	24,000円
	(直接所属)	●	●	●	●	60,000円
情報会員	(連携団体所属)	●	-	-	-	24,000円
協会員	(年商5億円未満)	●	●	●	-	60,000円
	(年商5億円以上)	●	●	●	-	120,000円
支援会員	(公的機関・団体)	●	-	●	-	60,000円
JBN連携団体*2)		■	■	■	■	30,000円

*3) 協会員、情報会員からのJBN会員へのPR資料等の配布は有料
改正実施:2012年5月1日入会から
なお、本年4月30日までに継続、入会手続きをされる場合は旧会費となります。
入会費:無料
会費:年会費(一括払い、毎年4月から翌年3月までの1年間)
・入会時のみ入会月から月割計算
・年度途中退会の場合は返金いたしません
正会員入会資格:建設業許可業者および入会から5か年以内に許可業者となる事業者

東日本大震災で被災されたJBN会員、連携団体の関係者の方々には、心よりお見舞いを申し上げます。
一般社団法人全国木造建設事業協会(全木協)の活動を支えるとともに関連機関との連絡、調整をはかりながら復興支援に努めてまいります。

活動報告

■前月号以降の活動

○第1204回 役員会 3月13日(火) 13:00~14:30
理事 3名、執行役員 3名、事務局 1名

【あいさつ】

・青木理事長

このところメディアをはじめ公的機関などでJBNという名称が当たり前のように使われるようになってきた。それだけJBNが広く認知されるようになった証だ。地域型住宅ブランド化事業もJBNには追い風になりそうだ。政策のねらいは地域の木造住宅産業の基盤整備だが、これまでの成果、蓄積の多くが活用できる。JBNの地域拠点がそれを担うことになりそうだ。さらなる発展に弾みをつけたい。

・藤澤センター長

毎回、議題が多く、それが次々と新しい動きに発展している。そのため検討に十分な時間がとれないのが悩みだ。問題を積み残さないよう気を配るようにしているつもりだが、勢いに応じた組織としての体制整備も必要だ。これまでに手掛けてきた多くのことに関連性が出て、仕組みとしてのつながりが見えてきた。4月からは事務所の移転を機に、組織としても体制としてまとまりの良さを目指したい。

【主な報告】

- 1) センターレポート(No.32) 関連、委員会報告
増改築委員会が名称変更し、4月より既存改修委員会に
- 2) 会員実数、住宅履歴登録数
- 3) 財務諸表について
- 4) 地域ブランド化事業JBN支援申請申込み状況
- 5) 林野庁補助金申請について
- 6) 事務所移転・開設日程等について—4月2日(月)より開設
- 7) 全木協応急木造仮設住宅協定締結状況
徳島県・高知県・宮崎県に続き、16日に愛知県、29日に埼玉県と締結予定

【主な議題】

- 1) JBNの組織・体制・憲章の件
組織・体制・憲章の内容を承認した。
- 2) JBN会費改定の件
会員区分、会費の種類や提携団体等の件を了承した。
- 3) 住宅あんしん保証への認定団体適用申請の件
適用申請と4月からの運用開始を承認した。
- 4) JBNインスペクション・システムの運用開始の件
JBNインスペクター(団体検査員)の運用を承認した。
- 5) その他・ジャパンホームショー参画の件
協力会員新規加入の件

次回4月10日(火) 15:00~17:00

○第1202回 JBN社員会・運営幹事会 3月13日(火) 14:30~17:00

社員29名、運営会議2名、事務局1名

【あいさつ】

・青木理事長

地域型住宅ブランド化事業はJBNにとって追い風になる。各連携団体に新規加入会員がふえている。4月からの事務所移転を機に、JBNを前面に押し出し、JBNを中心の活動を推進させたい。

・藤澤センター長

12~2月にかけて数多くの講習会を開催した。講習会が目的ではなく、工務店支援の各種ツールが整備されたことになる。これらツールとこれらをうまく活用するJBNインスペクターの運用準備も整ったので制度を4月より本格稼働する。これらを地域型住宅ブランド化事業にもうまく活用し、地域工務店の活力につなげてほしい。

【主な報告】

- 1) JBNの組織、体制、憲章等の件—青木理事長が所信とともに説明した。
 - 2) 次世代の会・各委員会の活動等の件
会長、各委員長が活動報告と方針を述べた。
 - 3) JBN会費改定の件—社員の了承を得た。
 - 4) 事務所移転について
移転、オープン、プレス会見などの日程等が説明された。
 - 5) 瑕疵担保保険・地盤調査・工事補償制度取り扱いの件
住宅あんしん保証との提携内容について説明された。
 - 6) JBNインスペクション・システムの件
JBNインスペクターの運用開始について報告された。
 - 7) 4月以降のスケジュールについて
 - 8) その他・地域ブランド化事業の支援体制
・ジャパンホームショー参画の件
- 11月14日(水)~16日(金)開催。出展に合わせJBN全国大会開催も。

青木理事長の動き

2月14日(火)~3月16日(金)

2月

- ・13日(月) 住宅あんしん保証打合せ
- ・14日(火) 役員会、新事務所見学
- ・15日(水) 大型木造委員会
- ・17日(金) マーケット正副委員長会議
- ・20日(月) 木住室打合せ、中古リフォームトータルプラン委員会、新事務所テナント契約
- ・21日(火) 全建連藤本会長代行他役員打合せ
- ・22日(水) 宮崎県災害協定締結式
- ・23日(木) 増改築委員会
- ・24日(金) 環境省、住宅建物WG、全建連書記長他役員打合せ、神奈川県地域ブランド説明会
- ・27日(月) 地域ブランド説明会参加希望者説明会
- ・29日(水) 国交省住田町仮設プロジェクトチーム会議参加、ゼロエネ住宅池田氏と打合せ。総連東京都役員+池田氏で地域ブランド打合せ

3月

- ・1日(木) 税理士、コンサル補助事業会計で打合せ、不動産保、中古流通フォーラム、小林委員長と同行
- ・2日(金) 日本住宅新聞取材
- ・6日(火) 住宅金融支援機構打合せ
- ・7日(水) 京阪神木造住宅協会総会セミナー講師。岐阜・金子氏同行
- ・9日(金) サポートセンター長、事務局打合せ
- ・13日(火) 役員会、社員会、運営会議
- ・14日(水) 次世代の会
- ・16日(金) 愛知県災害協定締結式

委員会・WG報告

次世代の会

●第1203回 3月14日(水) 13:00~17:00

- 東京シティアターミナル会議室
- 1.工務店クラウドサービス「Patio」説明(受注漏れを防ぐしくみ)
 - 2.JBN全国大会提案検討/実行委員会・公演テーマ・プログラム等
 - 3.今季活動の見直し 取り組み・成果発表
 - 4.今後のJBN活動「消費者に認知され、安心を与えるしくみ」を考える

国産材委員会

●第1202回 3月22日(木) 12:00~13:30

- (株)住宅あんしん保証会議室
・次年度の活動計画等について

●国産材委員会セミナー 第4弾

- 「木造建築の耐火性能と今後の可能性」
講師:桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井 昇氏
3月22日(木) 14:00~17:00 (株)住宅あんしん保証会議室

環境委員会

●第1202回 3月14日(水) 16:45~18:00

- (13:30~16:30 LCCM住宅シンポジウムに参加)
- 1.2012年度環境委員会活動について意見交換
 - 2.住宅のゼロエネルギー化推進事業について情報交換
 - 3.環境省うちエコ診断事業中間報告と2012年度事業への取り組みについて

増改築委員会

●第1203回 3月21日(水) 15:00~17:00

- 東京シティアターミナル
- 1.委員会名称の件 「既存改修委員会」に決定
 - 2.次年度の活動方針の件「-中古住宅・リフォームトータルプラン」との関連
 - 3.リフォーム市場の動向
 - 4.既存改修工事の設計施工基準

●第1204回 4月27日(金) 15:00~17:00

京橋・新事務所

改良型木造軸組工法委員会

●1201回 3月9日(金) 16:00~17:00

- 東京シティアターミナル 1階会議室
- 1.講習会結果報告
 - 2.会場での質疑への対応
 - 3.委員会活動終了と今後について

大型木造研究委員会

●準備委員会 3月28日(水) 15:00~17:00

- 工務店サポートセンター内
・委員会運営方針について

マーケット委員会

●WG 3月13日(火)・14日(水)

- ・各瑕疵担保法人へのヒアリング

次世代の会会長、各委員会委員長による JBN会員のための取り組みとメッセージ

本誌本年1月号(No.30)で年頭所感を掲載しています。これと併せて、ご覧下さい。

- ①今年の活動方針
- ②成果目標あるいは具体的な成果物
- ③JBN会員へのメッセージ

大規模木造研究委員会 委員長 山田 貴敏



- ①一昨年の法律施行により、さまざまな建築物の“木造化”が加速しています。われわれ地域工務店は中規模の建築物への参入が有利だと考えます。モデルプランの作成、規格横架材(6~7.2m程度)、施工方法、構造計算法等をわかりやすく使いやすくします。
- ②長スパンの主役、大断面集成材に加えて、木造トラス梁、合わせ梁、重ね梁にもスポットをあて、①工務店が作れる梁②誰もが使える梁、金物、工法、構造計算法等を整理し、わかりやすい携帯用のガイドブックにまとめます。
- ③当委員会は、われわれ工務店がつかってきた木造住宅の設計施工の知識、技術、経験をビジネスチャンスに結びつけることを目的にしています。われわれが実際に使うことができるJBN型のオープン工法をいっしょに作っていきませんか。工務店委員の枠がまだ空いています。

環境委員会 委員長 安成 信次



- ①認定低炭素住宅制度やLCCM住宅認定が始まるなど、これまでのCASBEEや自立循環型住宅設計ガイドラインなどのツールや省CO2政策が一つの連携した制度として工務店に見え始めました。そのような中、地域工務店が目指すべき「ゼロエネルギー住宅」や「LCCM住宅」の方向性を探求して行きます。
- ②「ゼロエネルギー住宅」や「LCCM住宅」の地域工務店に合った仕様や性能のパターン化を試み、レポート作成を行います。
- ③LCCM住宅の観点では、工業化住宅と比較して地域工務店が得意とする家づくりの方が断然有利です。省CO2政策が進む中、地域工務店の復権を掛けて「ゼロエネルギー住宅」に挑戦しましょう。

次世代の会 委員長 鈴木晴之



- ①激動する住宅事情と業界のめまぐるしい動きに対して、いかに受注を確保して次の世代の工務店業界を担うか、そのために次世代の会は「受注力と環境」というテーマで活動を行います。JBN会員の活動の根源となるべく外部との連携や情報交換、家づくりや経営のための勉強を行なって行きます。
- ②情報収集やスキルアップなど数々の勉強会を開き、スタッフ参加型の勉強も行なっています。また、工務店実務者の集団として、業

全木協が愛知県と締結、「災害時における応急仮設住宅建設の協定」

3月16日(金)午後2時から、全木協(全国木造建設事業協会)と愛知県との間で「災害時における被災住宅・建築物復旧相談業務に関する協定」の締結が行われました。徳島県、高知県、宮崎県に次いで4県目の締結となります。

締結式は愛知県公館で行われ、愛知県の大村秀章知事と協定が締結されました。応急仮設住宅の建設に関する協定は、従来の(社)プレハブ建築協会に加え、新たに全木協と日本ツーバイフォー建築協会東海支部の2団体と締結されました。全木協からは青木宏之理事長が出席し、協定を交わしました。

また、愛知県建築士事務所協会と「被災住宅・建築物に対する復旧相談業務」の協定が締結されました。被災した住宅・建築物の所有者に対して、適切かつ効果的な再建を支援し、その後の円滑な復興を促進するために、補修・復旧方法等について技術的な助言を行うものです。

締結後、大村知事の「これまではプレハブ建築会だけだったのが今回の地元の2団体、修理相談で1団体結ぶことができたの

界外部ヒヤリングや意見交換を行い住宅業界に貢献します。
③やる気あって沢山参加していただける若手経営者(引継ぎ予定者)を募集しています。今後は地域単位での活動も視野に入れているので、全国からの参加をおまちしております。

国産材委員会 委員長 日當 和孝



- ①国産材委員会は、会員工務店の国産材活用を応援する委員会です。国産材を活用するときの流通・法規制など、現場での「困った!」「どうすれば?」を内外の専門家の知見を基に解決を目指します。
- ②会員工務店のニーズの高いテーマで年4回の研修会を開催します。研修会講師には一流の専門家を招へいし、基礎的な知識に加え、現場で役に立つ・お施主様に説明できる内容とし、事前質問や質疑応答、講師との懇談会等、実践的な研修会とします。
- ③「国産材をもっと活用したい」と会員工務店より多くの希望が寄せられています。「国産材活用なんでも相談所」として当委員会を利用してください。また、研修会での懇談会は、講師・会員相互の具体的な課題の情報交換の場として活用してください。

マーケット委員会 委員長 小林 稔政



- ①当委員会では「大手住宅メーカーに負けない経営づくりのサポート」と、「地域工務店がとるべき既存ストック住宅対策及びビジネスモデルの構築」のために設立されました。今年は準備期間と位置づけ、目的、目標を明確にし、戦略を立て、組織づくりをおこないます
- ②JBNとして5社の瑕疵担保保険がワンストップで使える体制づくり(JBN住宅)。2千社・2万棟のスケールメリットを活かした特価商品の供給(例えば太陽光発電器、HEMS)。JBN入会メリットのわかりやすい訴求(セミナーの開催など)。
- ③工務店は設計や施工などのハードの技術に比べて、金融や保険、不動産などのソフト面の技術について苦手意識があります。当委員会では国や外部の協力や会員各社より情報を収集して、大手住宅メーカーに負けない経営が出来る手助けをしていきたいと考えています。そして将来的には中古住宅・リフォームが主になる住宅市場をにらみ、工務店が顧客に向けワンストップでサービスを提供できるビジネスモデルの開発も目的にしたいと考えます。

既存改修委員会 委員長 玉置 敏子



- ①長寿命化リフォームの必要性を意識し、良質な住まいへの改修・改善工事は地域工務店の重要な役割と認識し、住まい手から信頼され安心され評価され、報われるためのしくみを構築する事が活動の基本です。
- ②的確な情報を収集し、インスペクションをはじめとするシステム・各ツールの整備をすることにより、今までに蓄積された指針や制度を活用し、地域の活性化にも繋がる補助事業には積極的に参加していきます。
- ③業界の意識の変革まで求められる時代にあって、判断を誤らず、提案、工事ができるのは工務店の技術と経験によるものです。工務店のあるべき姿をサポートするJBN活動の一端としての委員会活動にご協力ご参加をお願いします。



締結式のあと握手を交わす青木理事長と大村愛知県知事